

(1) 環境方針

城南小学校かんきょうほうしん

かけがえのない地球ちきゅうを守るために、
みのまわりのかんきょうまちがよりよくなるように、
じっこうしていきます。

1. 電気でんきを無駄むだのないようにつか使う。
2. ゴミのぶんべつをする。
3. 水みずを大切たいせつにする。
4. 天気てんきや気温きおんに見合みあった衣服いふくを着きられるようにする。

城南小学校 一同



(2) 環境活動の手引き

城南小学校かんきょうかつどうのてびき

【でんき】

- ・教室やトイレなどの使うときに、明かりはつけるようにする。
- ・使っていない教室やトイレなどの電気は、気が付いた人が消す。

【ゴミ】

- ・月1回「城南環境デー」（ペットボトルキャップやプリンターの使い古しのインク等の回収）を設けて、リサイクルへの意識を高める。
- ・リサイクルボックスを児童玄関に設置して、ペットボトルキャップやプリンターの使い古しのインクはいつでも回収できるようにもする。
- ・もえるゴミは、紙類とビニール類に分別する。
- ・ゴミは、なるべく小さくしてからすてる。
- ・紙類は、回収する場所を各教室で設置して、再利用したりしばって捨てたりする。
- ・牛乳パックは、あらって、ひらいてリサイクルをする。
- ・給食は、クラスみんなでわけあうなどして、残りが出ないようにする。

【れいぼう・だんぼう】

- ・温度設定に気をつける。
- ・せんぷうきをいっしょに使う。
- ・天気や気温に合った衣服を選んで、暑さや寒さを自分で調整する。

【水】

- ・手あらいやはみがき、そうじの時など、水は使う時だけ出す。
- ・水を使うときは、「えんぴつの太さ」ぐらいの水の量になるようにする。
- ・そうじでぞうきんを使うときは、バケツに水をためてすすぐ。

【まなぶ】

- ・かんきょうについて、各教科や環境集会などを通して学ぶ。
(今起きていること、これから先のこと、自分たちにできること)

城南小学校 環境活動の手引き (教職員向け)

【電気】

- ・必要のない明かり等は、こまめにスイッチを消すように児童に指導する。
- ・特別教室や会議室、トイレ、倉庫、廊下等、利用時以外は消灯する。
- ・不要なOA機器の電源を切る
- ・電気機器を購入するときは省エネ型を選ぶ

【水】

- ・手洗いや歯磨き等で水を出したままにしないように児童に指導する。
- ・作業・清掃で水を使うときは、節水に努める。

【冷暖房】

- ・温度設定を控えめにする。：目安(暖房20度) (冷房28度)
- ・誰もいないときには消す。ただし、短時間でその教室に戻る場合は、一定の温度でつけたままにする。
- ・冷暖房使用時には、扇風機・ブラインド・カーテン等の活用により効率をあげる。
ただし、ストーブの場合は換気を十分に行う。

【ゴミ】

- ・燃えるごみ・燃えないごみ・飲料缶・ビン透明・ビン茶・ビン他の色・PETボトル・新聞紙・ダンボール・牛乳パック・その他の古紙・乾電池・蛍光灯に分別する。
これに対応した分別ごみ箱を設置する。
- ・使用済みのプリント・書類は、古紙として、リサイクルできるように別に捨てる。
また、小さい紙は、封筒や紙の袋に入れて、同様にする。
- ・個人情報関連書類は、シュレッダー処理をする。
- ・用紙の両面印刷・利用を推進する。裏が白い紙は使用後に裏面も利用する。
- ・特殊な廃棄物については、法令に従い業者委託等により適正に廃棄する。

【授業の中での環境学習】

一年生	生活科・学活・道徳等で、適宜環境とISOの取組みについて説明
二年生	生活科・学活・道徳等で、適宜環境とISOの取組みについて説明
三年生	学活・理科・道徳等で、適宜環境とISOの取組みについて説明
四年生	学活・理科・社会等で学習する。
五年生	学活・理科・社会・家庭科などで学習する。
六年生	学活・理科・社会・家庭科などで学習する。

「正しく学び、行動しよう！」

高崎市立城南小学校

1 取り組みの概要

本校では、代表委員の5, 6年生を中心に全校児童みんなで環境活動に取り組むことになりました。今年度も、思うように活動ができないこともあって、環境について意識を向けたり自分にできることを考えたりという『学ぶこと』をより積極的に各学年が各教科の中で行い、日々の生活の中での実践を目指してきました。

2 今年度の活動内容

○ペットボトルキャップ回収等への取り組み

例年行っていた「城南小学校環境デー」がコロナ禍のため今年度も実施できませんでした。しかし、高崎市のペットボトルキャップ回収は、常時活動として玄関に回収箱を設置していました。たくさん集めておいてくれた家庭もあり、重たいほどキャップを持ってくる児童もいました。今年度は、45リットルのビニール13袋ほどのキャップが集まりました。ゴミとして捨てるのではなく、再利用することで、環境への負荷が減っていることをいろいろな授業の中でも扱い、ゴミの削減につながるよう意識できるようになってきています。また、ベルマーク活動の一環として、不要になったインクカートリッジの回収箱も置き、回収することで、余分なプラスチックが再生されることなどにも気づくことができます。



○花いっぱい玄関

例年、保護者で組織されている校外委員の皆さんが年に数回、正面玄関付近のプランターに季節の花を植え替えてくれています。その後は、担当の児童がきれいに咲いている花を守ろうと水やりを行っています。



○節電への呼びかけ

自分たちが快適な学校生活を送るために、たくさんの電気が使われていることに気付き、昨年度から、ポスターを作成して掲示しています。使用していない教室やトイレ等の照明を消灯したり、エアコン・ヒーターの使用方法を守ったりすることを、全校に呼びかけ、省エネルギーな生活に取り組んでいます。



○授業の中での学び

環境について本当のことを知らなければ、対策はとれません。全校に向けて、これまで以上に、授業の中で児童が学ぶことを意識して取り組みました。

《6年生・理科》『物の燃え方と空気』物が燃えると二酸化炭素がでることを学習した。すでに知っている児童から、「地球温暖化」「酸性雨」などの言葉が発せられ、学級全体の学びへと発展した。

《5年・理科》『台風と天気の変化』台風について学んでいる中で、近年の台風の発生や被害を知り、気候変動が関係していることに気付き、自分たちでできることを考えた。

以上のように、教科の学びの中で正しい知識を身に付けられるようにしました。

3 取組の見直し及び今後の活動

今年度も、例年実施していた縦割り清掃や集会等が行えずに、全体で同じ意識をもつことが難しい年でしたが、各学級で学び、それを日々の生活の中で小さなことから実践してきました。また、教職員が共通意識を図り、積極的に行動してきました。今後も、子どもたちだけでなく、教職員や保護者などの大人の意識を高める活動等も意欲的に取り組んでいきたいと考えています。